

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## No.14 容器の移し替えによる誤飲（ワックス剥離剤）の類似事例1（アルカリ性洗剤）

事 例	年齢：8歳10か月 性別：男 体重：22.7kg 身長：127cm	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	アルカリ性洗剤（油污れ用強力洗剤）（外見は緑茶様）	
臨床診断名	喉頭損傷	
医 療 費	76.610円	
発 生 状 況	発生場所	自宅のリビング
	周囲の人 ・状況	母親は近くにいたが荷物の整理をしていた。
	発生日・時刻	2015年 6月 2日 午後9時30分
	発生時の 詳しい様子 と経緯	普段から母親の職場にある業務用アルカリ性洗剤をペットボトルに入れて持ち帰り、家で使用していた。いつもはペットボトルに飲んではいけないと印がしてあった。この日は職場からペットボトルをビニール袋に入れて持って帰り、リビングのテーブルの上に置いていて、印はつけていなかった。母親が目を離している間に、児が「お茶」だと思い、ビニール袋を開けてペットボトルの中に入っている液体を口に含んだ。変な味がしたのですべて吐き出し、その後、夕食に食べたものも嘔吐した。
治療経過と 予後	当日は喉の痛みがあったが元気なため様子を見ていた。翌日に耳鼻咽喉科を受診した際に、軟口蓋の発赤・腫脹を認めたため、当院に紹介となった。児は液体を飲み込んでいないと言っていたが、飲み込んでいて食道潰瘍がある可能性もあったため、上部消化管内視鏡検査を行った。食道・胃には粘膜病変は認めなかったが、右披裂部に発赤を認めた。気道閉塞の可能性もあったため入院とした。入院2日目には軟口蓋と披裂部の発赤・腫脹は変わらなかったが、3日目には改善を認めたため、4日目に退院とした。	